



正五位勲六等伊藤真雄任命ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和四年八月七日

内閣總理大臣濱口雄幸



内閣



文第一〇三六號

起
案
昭
和
四
年
八
月
五
日

裁
可
四
年
八
月
七
日
決
定
年
月
日

行
施
四
年
八
月
八
日

內閣總理大臣了

內閣書記官長

田

內閣書記官



正五位勲六等伊藤真雄任命ノ件

內閣

裏面白紙

本籍	生年月日	姓名	職名	備考	年月日
本籍 新潟縣 士族	明治十一年八月九日	伊藤 眞雄	新潟縣尋常中學校卒業		明治卅三年三月卅一日
			第四高等學校大學豫科卒業		同卅三年七月一日
			京都帝國大學法科大學へ入學		同卅四年九月一日
			京都帝國大學法科大學第三試問科目ヲ卒業シ法學士ヲ稱ス		同卅七年三月卅日
			無試驗檢定ニ依リ師範學校中學校高等女學校英語科教員免許狀ヲ受ク		同卅六年十月卅日
			大阪府立堺中學校教授		同卅七年四月五日
			ヲ囑託ス		同卅八年四月五日
			月手當金六拾圓支給		
			市立大阪高等商業學校教授		
			教授ヲ囑託シ月手當金七拾圓支給		
			大阪府立堺中學校教授		
			囑託ヲ解ク		
			八級俸下賜		
			韓國へ出張ヲ命ス		
			七級俸下賜		
			六級俸下賜		
			御用有之滿洲へ被差遣		
			朝鮮へ出張ヲ命ス		
			英獨兩國へ出張仰付		
			當分年俸四百六拾七圓下賜		
			歸朝		
			本俸下賜		

同 年	三月卅日	敍正七位				宮内大臣
同 年	七月廿二日				五級俸下賜	大阪府
同 五年	一月卅一日	敍從六位				宮内大臣
同 六年	二月一日	職制改正ニヨリ公立實業専門學校教授トナル				
同 年	七月十日				四級俸下賜	大阪府
同 年	十二月一日	市立大阪高等商業學校長事務取扱ヲ命ス				同
同 七年	四月廿日	市立大阪高等商業學校長事務取扱ヲ解ク				同
同 年	十月廿七日	陞シテ高等官四等ヲ以テ待遇セラル				總理大臣
同 八年	三月廿日	敍正六位				宮内大臣
同 年	四月一日	校名ヲ大阪市立高等商業學校ト改稱セラル				大阪府
同 年	五月卅一日				二級俸下賜	大阪府
同 九年	八月廿六日	公立學校職員俸給令改正			一級俸但當分年三千六百圓支給	
同 十年	六月十五日				一級俸下賜	大阪府
同 十一年	三月十日	陞シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル				總理大臣
同 年	六月十日	敍從五位				宮内大臣
同 十三年	一月卅日	敍勳六等授瑞寶章				賞勳局
同 十四年	八月卅一日				公立學校職員俸給令第六條ニヨリ加俸年額金七百圓下賜	大阪府
同 十五年	七月廿七日				歐米各國へ出張ヲ命ス	文部省
昭和二年	十一月廿六日				歸 朝	
同 三年	四月一日	校名ヲ大阪商科大學高等商業部ト改稱セラル				
同 年	七月五日	公立大學豫科教授ニ兼任ス				
同 年		高等官三等ヲ以テ待遇セラル				内閣
同 年					大阪商科大學豫科教授ニ兼補ス	文部省
同 四年	三月十五日	公立大學教授ニ任ス				
		勅任官ヲ以テ待遇セラル				
		公立實業學校教授ニ兼任ス				
		高等官三等ヲ以テ待遇セラル				内閣

文 部 省

兵一四三號

伊藤真雄任用，件

右上奏書及進達候也

昭和四年八月五日

文部大臣小橋一太



内閣總理大臣濱口雄幸殿

裏面白紙

233

特ニ至急御發
ヲ請フ

兵一四三號

伊藤真雄任用，件

右上奏書及進達候也

昭和四年八月五日

文部大臣小橋一太



内閣總理大臣濱口雄幸殿

233

特ニ至急御發令
ヲ請フ